



T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリークラブ

Rotary



W E E K L Y R E P O R T

Thank You, Rotary

東京六本木ロータリークラブ会長

2014年10月6日発行 第411号

2014-2015年度 No. 11



本日のプログラム

平成26年10月6日

卓話 『シニアの旅とアンチエイジング、その魅力とは』

株式会社グローバル ユース ビューロー 代表取締役会長

古木 康太郎 様

プロフィール

創業1966年2月。
1966年九州にて初の欧州チャーターを企画し、若い方々を中心に30日間の旅に137名が参加。以降25年間は日本経済が発展途上にあり、若者が欧州に学ぼうと多く参加。1991年日本経済の状況も年々向上し、シニア層向けの企画に転換。品質を重視し

た旅行商品（パッケージツアー）を展開し、現在に至る。

日本旅行業協会理事 1993年～2014年6月まで

旅行業公正取引協議会会長 2005年～
日本旅行業厚生年金基金副理事長

クラブからのお知らせ [9月29日例会]

● 山本会長挨拶

- 昨日、ベルリンでマラソンの新記録が出ました。2:02:57です。因みに日本記録は2:06:16ですが、カネボウの高岡選手です。31年前のホノルルではトップのショーター選手が2:18:00でした。人間は2時間を切るのでしょうか。驚くばかりです。
- さて、御嶽山での噴火で惨事が起きています。友人の山岳ガイド曰く、日本の注意すべき活火山は47あるそうです。御嶽山もそのひとつですが、皆さんの身近な軽井沢も浅間山、白根山がすぐ傍です。また富士山、箱根山から伊豆諸島までずっと縦に活火山帯があります。プロのガイドとしては火山性振動があれば一ヶ月はその山には行かない、と決めるしか対策はない、と申しておりました。みなさんご注意ください。

ゲストからのInformation



グアムサンライズRCより、湯川愛里様が、東京サンライズ汐留RC認証伝達式のキャラバンでいらっしゃいました。

RI第2750地区で初めてのパシフィックベイスングループ(PBG)に所属するクラブとして、東京サンライズ汐留ロータリークラブを設立することとなりました。スポンサークラブはグアムサンライズロータリークラブで、現在の会員数は20名程となります。日本とPBGとの綿密な連携を積極的に行う予定であり、PBGからはその役割に対して高い期待を持たれております。11月17日(月)、18時よりロイヤルパークホテルにて、チャーターナイトを開催しますので奮ってご参加ください。



平成26年9月8日

卓話『アジアの中の日本』

東京大学 名誉教授
早稲田大学アジア研究機構 招聘研究員
公益財団法人日韓文化交流基金 評議員

伊藤 亜人 様

皆さん、こんにちは。今日のテーマは、日本はアジアの中でどう自分たちの位置を自覚し、理念と展望を持つかということです。私は大学で人類学の研究をしながら、もう一つの専門に韓国を選びました。私が誰もやらない韓国の研究をやるといったとき先生は大変喜んで、日韓国交回復後間もない中、私のためにソウル大学から3人の客員教授を呼んでくださいました。大学院のあとすぐ助手になり、1971年から毎年、韓国の農村に行っていました。そういう恵まれた環境で40数年韓国研究をやってきました。

その頃の韓国は、戦後初めて日本から来た若者には厳しい環境でしたが、私には知的な刺激にあふれていました。農村の家はほとんど藁葺で、土と木と石で出来ており、鉄は釜と農機具3種類だけ。韓国研究は白紙の状態でしたから昔のメキシコや中国の農村と比較して自分の頭で考えながらやっていく、そんな研究スタイルでした。

本日のテーマでいいますと、日本人には見えにくい問題がたくさんあることをまず我々は自覚すべきだと思います。特に韓国とは驚くような違いがあります。日本はある所に住めば、私はこの街が好きだとか言って、そこに長く住みますね。地域は重要な意味を持つわけです。しかし韓国では地域というのはあまり意味がない。人は自由で、その時その時、自分の都合のいいところに身を移します。場所とかモノとか職場に拘ることにはむしろ否定的です。職業や技も二次的なもので、内面的、精神的な思想や理念を重視し、それを言葉で表明することが大事なんです。経済でもそれが表れてきます。日本の場合、経済は地域と不可分で、経済は地域において実現されると思うん

ですが、逆の立場からは経済は数字であり地域はむしろ妨げと考える。実際、そういう経済観を持てばスピーディーで的確な判断ができます。しかし着実性とか持続性は弱い。ですからこれは人の生き方とも関係します。

日本ではモノに詳しいことを評価しますが、韓国ではむしろマイナス。焼き物一つを見ても、日本人は手に取って、この釉薬は、なんて蘊蓄を語る。韓国ではそういったモノと人の関係に精神性を見ませんが、日本ではお茶やお花のように精神性はモノを通して表現されます。これは論理的に説明しにくいことです。つべこべ言わずに手を動かせと職人の親方が叱りつけるように。

現代の国際社会で、例えばJICAの人たちが国際的なコンセンサスナリーでプランを出すと、理論性がないと言われてしまう。しかしJICAの青年海外協力隊なんて、まさに実践と具体的な経験の蓄積ですね。しかもそれは開発途上国の人たちにとって非常になじみがある。ですから日本が論理性の欠如を一方向的に否定されるだけじゃなくて、それを受け止めながら、日本人の生きざまの持つ意味、普遍性を自覚してそれを生かすのが、日本人が生きていける道だと考えています。

これは韓国研究を通して私が到達したものです。





2014年9月13-15日
国際ロータリー第2750地区
第11回RYLAセミナー報告



武蔵野大学 田島 優

今回、私はこのRYLAのセミナーに参加させていただいたことで、普段の生活ではできないことを経験し、さまざまな分野で活躍しているRYLAのセミナーで出会った仲間との交流を経て、これまでにはなかった高い志を持つことができました。

1日目のオリエンテーションや、交流の場では緊張してほとんど話すことができませんでしたが、2日目のケーススタディでは、学歴や地位にかかわらず、平等な立場として社会人やほかの大学の方たちと話をさせていただいたので、緊張がほぐれていつも以上に話し合いに積極的に参加することができ、また、多くの発見をすることができました。

最終日には、4名のゲストスピーカーによる講演を聞いて、それぞれが考えたことやこれまでの経験をもとに、ほとんど徹夜でグループディスカッションを行い、「トップリーダーとはいかにあるべきか」というテーマについての発表を行いました。ステージに立って目上の方にスピーチをするのが初めてだったので、足が震えるほど緊張しましたが、6人で協力して作り上げたプレゼンテーションを発表することは、とてもやりがいのある充実した時間でした。

このRYLAセミナーで学んだことを忘れずに、今後の活動に役立てていきたいと思います。



武蔵野大学 山口 佳輝

今回、私は本セミナーに参加する事で2つ、大きな成果を得られた、と考えています。



1つ目は視野が広がった、という事です。例えばある講演で「辞めない責任の取り方」という事を仰っている方がいました。それまで私は「何か問題が発生したらトップが責任をとって、潔く辞めるべき」と考えていましたが、この言葉と説明でいかに自分の考えが甘いものだったかという事に気づくことができました。またディスカッションでは議論が白熱し、最終的に自分がこれまで考え、大学で学んできたリーダーシップは「手段」でしかない事に気づき、自分の中のリーダーシップ像が変化しました。他にもこのような事は多くあり、言いたしたらきりがありません。本セミナーの至る所で新しい発見があり、それらが自分の視野を大きく広げてくれたと思います。

2つ目は自信がついた、という事です。最終日のプレゼンテーションは講堂で行われたのですが、今までこのような場所でプレゼンしたことがなかった為、やりきった時に自信ができました。

このようにこの3日間は常に刺激的で、得た事は非常に大きなものとなりました。ここで得た事全てを忘れないよう深く刻みつけ、今後にもいかしていきたいと思っています。



ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)は、ロータリーが実施する若者たちのための研修プログラムで、青少年にリーダーシップ、良き市民、人間としての成長を促すものです。当クラブは、RI第2750地区の本年度のセミナーに、石上会員の推薦による武蔵野大学の学生2名の研修を支援しました。



ニニコBOX情報

川中 清昭さん(東京恵比寿RC)

恵比寿ロータリーの川中でございます。お世話になります。宜しくお願い致します。

小篠 ゆまさん

本日の卓話、辻様どうぞ宜しくお願い申し上げます。
家族で安全健康生活を心がけております。楽しみに致しております！

角山 一俊さん

辻さん、本日卓話よろしくお願い申し上げます。興味しんしんです。実は、長年の鼻のアレルギーで苦しんでいます。

末松 亜斗夢さん

辻様、本日の卓話を楽しみにしております。

齋藤 明子さん

よいお天気が続いていて、気持ち良いですね。
辻さん、本日の卓話よろしくお願い致します。

杉本 潤さん

爽やかですね。

門田 真子さん

辻幸一郎様、アレルギー的生活のすすめのお話、楽しみにして居ります。

今野 ひろ子さん

毎週、皆様のはつらつとした笑顔とすてきなファッションを拝見しつつ、卓話を伺うのがとても楽しみです。

渡邊 滋さん

もうやはり秋なんでしょうね。
「初秋や 海も青田も一みどり」松尾芭蕉

9月29日 合計 29,000円

累計 458,200円

次回のプログラム

平成26年10月20日

卓話『地区ロータリー財団補助金について(仮題)』

国際ロータリーRI第2750地区
ロータリー財団委員会・補助金委員会 委員長
安保 満 様

ロータリーデーを開催します

みなさん、ロータリーデーというものを思い出してください。

ロータリークラブの活動を地元の人々に紹介し、関心を持っていただくこと、そして会員になってもらうことに繋げるためのイベントです。RI及び地区の重点目標は下記の通りです。

1. ポリオ撲滅
2. 会員増強の推進
3. ロータリーネットワークの拡大と強化
4. ロータリーデーの実施

そこで当クラブでは11月15日の六本木クリーンアップに会員みなで参加して、この日を六本木ロータリークラブのロータリーデーとすることにいたしました。朝9:00より10:00までのゴミ拾いを楽しみましょう。終了後コーヒーのサービスが頂けます。 会長：山本良樹

開催日：11月15日(土)

時 間：9:00-10:00

集合場所：六本木ヒルズ「蜘蛛のオブジェ」前



国立昭和記念公園「コスモスまつり 2014」
11月3日まで開催中

9月29日の例会出席率(暫定)

- ・会員の例会出席数(出席率) 28名(58%)
- ・ゲスト・ビジターの参加者数 5名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。



森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用 に役立ちます

東京六本木ロータリークラブ

会長 山本 良樹 幹事 齋藤 明子 広報委員長 安井 悦子 広報・週報委員長 高柳 公康 広報・週報副委員長 山本 章博

事務局》〒106-0031 東京都港区西麻布3-2-13 コートアネックス六本木503号室 TEL:03-6721-1555 URL:http://www.tokyoroppongi-rc.jp/